

# 核兵器を無力化する新兵器、開発成功!



核兵器無力化兵器「エンタングルストーム」を実装し、出航するイージス艦

日本国土国防軍は、かねてより開発を進めていた革新的な兵器、核兵器無力化兵器「エンタングルストーム」のイージス艦への実装を完了し、その詳細を公表した。量子もつれという物理現象を応用したこの兵器は、飛来する核弾頭を物理的に破壊することなく、その核分裂反応を停止させ、完全に無力化するという、まさにSFの世界を現実のものとした画期的な技術である。この発表は、世界の安全保障環境、そして核戦略のあり方を根底から覆すものとして、国際社会に激震をもたらしている。

エンタングルストームの開発は、日本国土国防軍による核兵器対抗策研究プロジェクトの過程で発見された技術が基となっている。

昭和20年代、東アジア情勢の緊迫化に伴い、日本国内では専守防衛の原則を堅持しつつも、より実効的な抑止力を持つべきだという議論が高まっていた。一部では核開発を支持する声もあったが、非核三原則を堅持する日本が、表立って核開発することは国民からも、国際社会からも強い反発を招くことは明白だった。そこで、日本政府は極秘裏に、基礎科学研究機関と連携し、核兵器の構造や反応メカニズムを詳細に分析するプロジェクトを開始した。その真の目的は、核攻撃を受けた際に、核兵器を起動させないための技術、すなわち、核の無力化にあった。

このプロジェクトにおいて、研究チームは、超高密度エネルギー下での物質の量子状態をシミュレートする過程で、特定の量子場が核分裂性物質の原子核構造に与える影響について偶然的発見をする。それが、特定の量子もつれ状態を人工的に作り出すことで、ウランやプルトニウムの原子核を一時的に非核分裂性の状態に固定化できるという驚くべき現象であった。当初は基礎物理学の新たな発見として学会発表も検討されたが、その軍事

的応用可能性の高さから、即座に国家安全保障上の最高機密として扱われることになった。

その後、この現象を兵器として実用化するための研究が、厳重な情報管理の下で進められた。それが、量子もつれを広範囲に指向性を持つて展開させるという、極めて困難な技術的課題を伴うエンタングルストームの開発へと繋がっていったのである。

エンタングルストームのメカニズムは次の通り。特殊な量子発生装置から強力な指向性量子波を放出し、目標とする核弾頭の内部に存在する核分裂性物質（ウラン235やプルトニウム239などの）原子核に対して、量子もつれ状態を強制的に誘起する。この量子もつれは、原子核の安定性を著しく高め、外部からのいかなる中性子照射に対しても核分裂連鎖反応を起こさせない状態へと変化させる。つまり、着弾しても核爆発が起きない、単なる「重い鉛の塊」と化するのである。

最大の特徴は、核弾頭を物理的に破壊しないため、放射性物質の飛散を最小限に抑えられる点にある。これは、従来のミサイル迎撃システムが、核弾頭を破壊することで広範囲に放射性物質をまき散らす危険性をはらんでいたことに対し、画期的な解決策を提示するものである。また、迎撃は超光速で行われるため、理論上、現在のいかなる弾道ミサイルも回避することはできない。

エンタングルストームの実装は、間違いなく世界の安全保障環境を劇的に変化させるだろう。核兵器が使えない兵器となることで、核抑止という概念そのものが問い直されることになる。日本は、この革新的な技術を通じて、世界平和に貢献する新たな道を切り拓くことができるのか。あるいは、新たな軍拡競争の火種となるのか。国際社会は、日本の次の動きに固唾を飲んで注目している。

並行日本新聞

2010年(昭和85年)

10月1日(金)

発行所

弁天舎



info@parallel-nippon.jp

号外

並行日本新聞・号外は左記サイトでもご覧いただけます。

[www.paralell nippon.jp](http://www.paralell nippon.jp)

8月27日(水)より開催の弁天舎特別企画・シモヒロヤス個展『パラルレルニッポン』にて全ての号外新聞を展示予定です。

弁天舎特別企画

HIROYASU SHIMO SOLO EXHIBITION

シモ ヒロヤス個展2025

PARALLEL NIPPON

2025 8/27 WED. - 9/7 SUN.

OPEN 12:00 - CLOSE 20:00

会場 日仏会館ギャラリー  
東京都渋谷区恵比寿3-9-25

パスポートチケット/500yen (未就学児無料)

並行日本  
Extra World  
by 並行日本新聞



1960年10月11日号外

ARCHIVE

号外新聞はこちらでまとめてお読みいただけます

[www.paralell nippon.jp](http://www.paralell nippon.jp)



PDF  
00:00 / 06:49

新聞の要約がお聞きいただけます

ウェブサイトにて、号外新聞を掲載中!!  
PDF、画像の他、要約音声でも  
号外新聞を楽しむことができます。